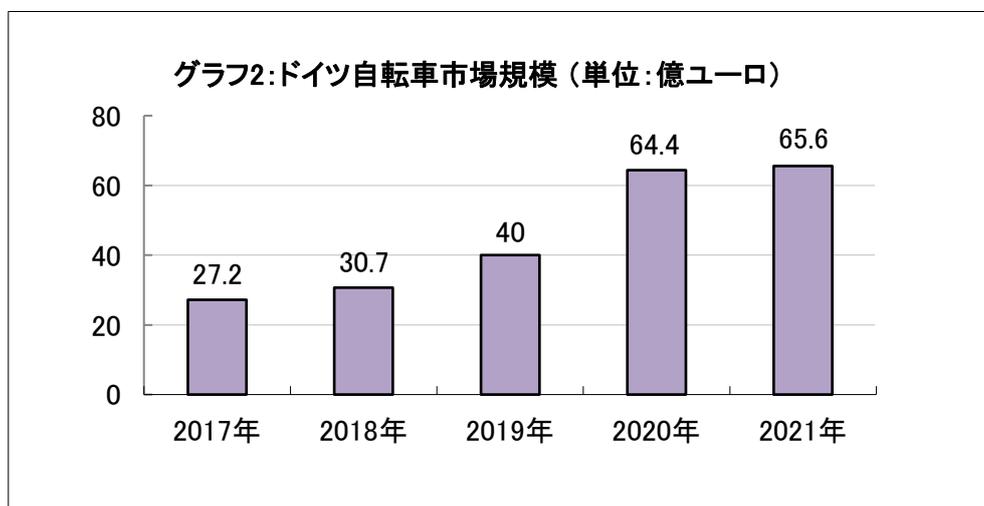
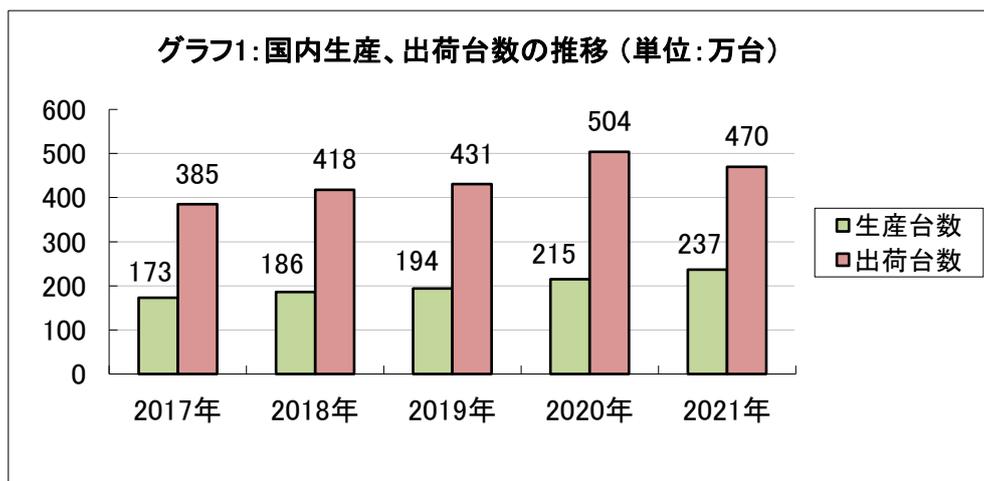


ドイツ自転車市況－2021

1. 国内生産及び出荷

ドイツ二輪産業協会(ZIV)によると、2021年の自転車及び電動自転車の生産台数は前年比10.2%増の237万台となった。一方、出荷台数は前年比6.7%減の470万台に減少したが、市場規模は65.6億ユーロ(8,790億円「換算レート1ユーロ＝134円」以下同じ)と前年比1.9%の微増ながら60億ユーロ(8,040億円)の大台は維持した。

こうした状況にZIVは「2021年当初の自転車業界の状況は非常に危機的であった。すなわちパンデミック関連の工場閉鎖、大規模なサプライチェーンの混乱、



商品納入の遅延が、業界の成功を危険にさらす深刻な問題を引き起こしたため、当初から 2021 年は容易な年ではないことが予測されていた。そうした状況にも拘わらず、製造業者は生産を前年比 10%増やすことができた。これは、海外に移した生産拠点を再び自国へ移転するというリショアリング効果の結果であるといえるが、必要部品の入手がもっと容易であれば、さらに良い結果を達成できたであろう」としている。

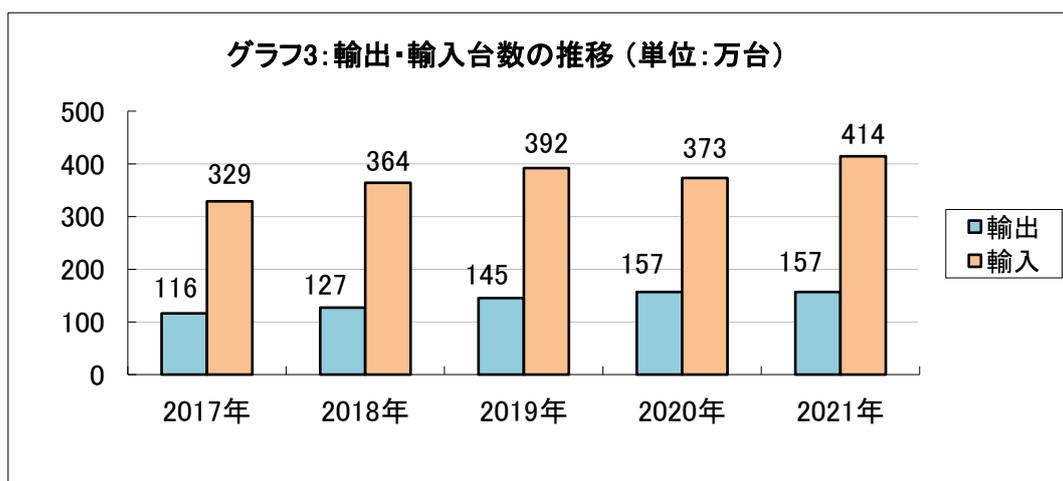
2021 年の全業態の平均販売価格は、前年比 9.1%高の 1,395 ユーロ (186,930 円) と前年に引き続き上昇した。平均販売価格の上昇について ZIV は「10 年前と比較するとほぼ 3 倍の額となった。この上昇は、主に電動自転車の市場シェアが着実に拡大していることによるもので、電動自転車の市場シェアは現在 43%に達している。今後も数年間は増加し続けるであろう」としている。

表1: 平均販売価格の推移 (単位: ユーロ)

	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年
全業態平均販売価格	706	735	929	1,279	1,395

2. 輸出入

2021 年の自転車及び電動自転車の輸出台数は 157 万台で前年同様であった。一方、輸入台数は前年比 11.0%増の 414 万台となった。



自転車輸出の比率上位 10 カ国は、英国に代わり、スウェーデンが浮上した。最大の輸出先は依然としてオランダで、市場シェアは前年より 2 ポイント減の 28% となった。それに次ぐオーストリアは 11%で前年並み、次いでフランスは 10%と

前年より2ポイント増となった。輸出先の93%がEU及びEFTA諸国である。

表2: 自転車輸出比率上位10カ国の推移

国名	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年
オランダ	28%	27%	32%	30%	28%
オーストリア	12%	12%	13%	11%	11%
フランス	7%	7%	7%	8%	10%
ポーランド	5%	7%	10%	8%	9%
スイス	6%	6%	6%	7%	6%
ベルギー	3%	4%	4%	4%	4%
イタリア	3%	3%	3%	3%	4%
デンマーク	4%	3%	2%	2%	3%
スウェーデン	※	※	※	※	3%
チェコ共和国	※	※	3%	2%	2%
その他	32%	31%	20%	25%	20%

※その他に含まれる

自転車輸入比率上位10カ国に変化は見られない。最大の輸入先は依然としてカンボジアで前年より2ポイント減の20%を占める。

表3: 自転車輸入比率上位10カ国の推移

国名	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年
カンボジア	23%	23%	23%	22%	20%
バングラデシュ	5%	5%	7%	8%	11%
ポーランド	13%	13%	11%	9%	7%
ブルガリア	11%	12%	11%	8%	7%
オーストリア	4%	3%	3%	6%	7%
オランダ	6%	6%	5%	6%	6%
中国	5%	5%	4%	4%	6%
フィリピン	3%	3%	4%	4%	5%
ポルトガル	4%	6%	7%	5%	4%
ルーマニア	※	※	※	4%	4%
その他	26%	24%	25%	24%	23%

※その他に含まれる

3. 販売業態別シェア

2021年の販売業態別シェアは自転車小売専門店が前年より6ポイント増の73%となった。デパート、スーパーマーケットやホームセンター等の量販全体のシェアは2ポイント減の4%と、ここ数年減少が続いている。また、通信販売・インターネットも前年より5ポイント減の23%と減少した。

表 4: 販売業態別シェアの推移

販売形態	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年
自転車小売専門店	68%	67%	68%	67%	73%
デパート・DIY店・小型スーパー	13%	10%	8%	6%	4%
通信販売・インターネット	19%	23%	24%	28%	23%

ZIVは「インターネット販売はどの商品でも活況を呈しているが、自転車に関しては、専門店での販売がシェアの73%と大幅拡大している。自転車は、購入に当たっては専門的知識が求められる商品である。特に電動自転車に関しては、より高度な専門的知識が必要とされるため専門店での販売が高い」としている。

4. 車種別販売シェア

2021年の車種別販売シェアはトレッキング車が前年より2ポイント減の23%、シティ車は1ポイント減の12.0%、ATBは2ポイント減の5.0%、子供車は前年並みの3.5%、MTBも前年並みの3%となっている。

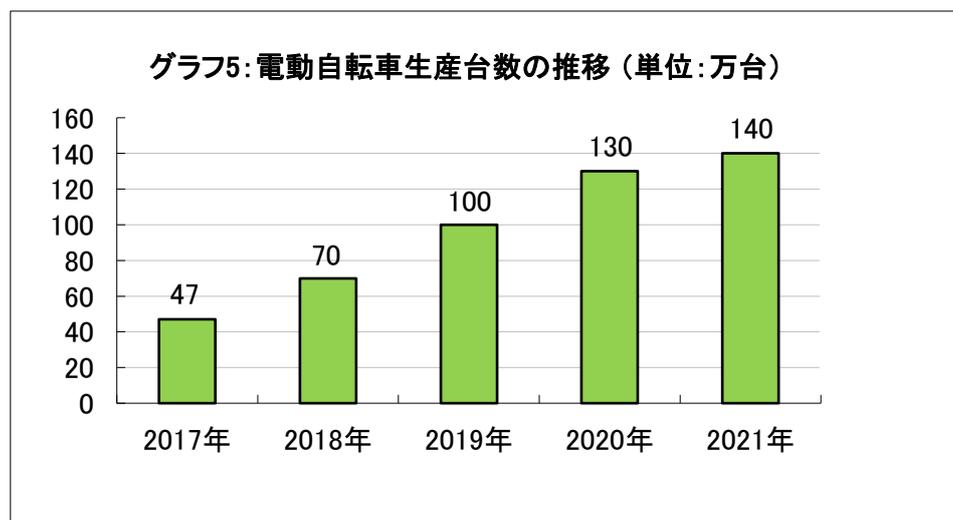
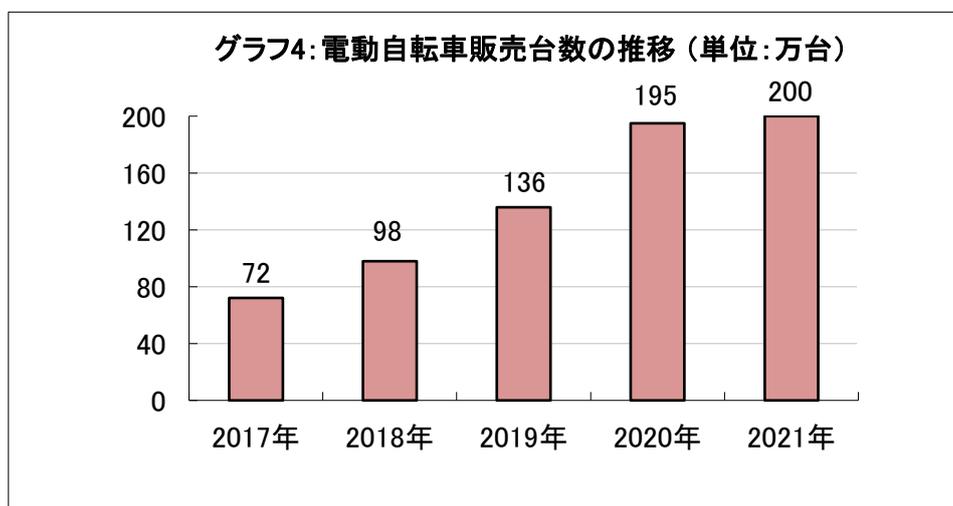
表 5: 車種別販売シェアの推移

車種	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年
トレッキング車	30.5%	29.5%	26.0%	25.0%	23.0%
シティ車	19.0%	18.0%	14.5%	13.0%	12.0%
ATB	7.5%	7.0%	8.0%	7.0%	5.0%
MTB	7.0%	6.5%	5.0%	3.0%	3.0%
子供車	4.0%	4.0%	4.0%	3.5%	3.5%
幼児車	3.0%	2.5%	2.5%	2.5%	2.5%
オランダ型及びツーリング車	3.5%	3.0%	2.5%	2.0%	1.5%
レース用自転車／フィットネスバイク	4.0%	3.5%	3.5%	3.8%	5.0%
電動自転車	19.0%	23.5%	31.5%	38.7%	43.0%
運搬車（2019年より追加）	-	-	0.5%	0.5%	1.0%
その他	2.5%	2.5%	2.0%	1.0%	0.5%

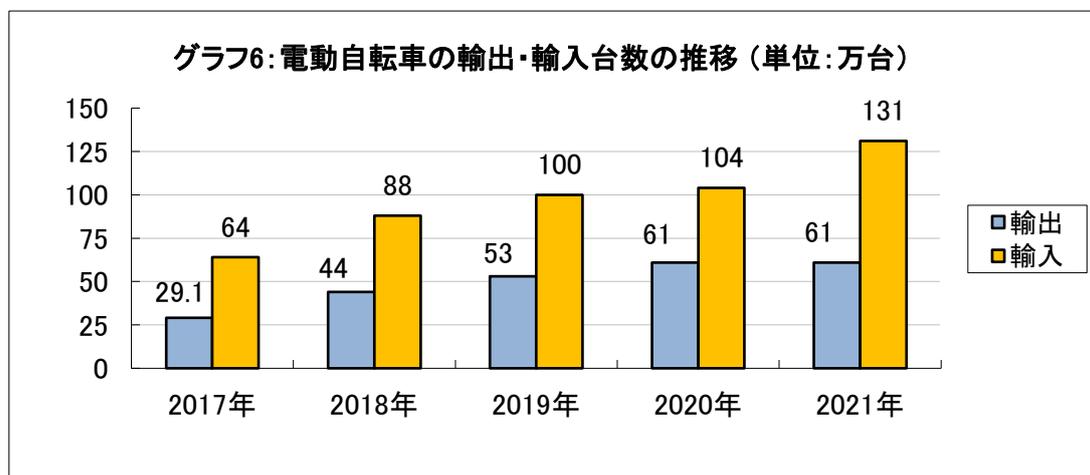
一方、電動自転車は前年より4.3ポイント増で全体の43.0%とさらにシェアを伸ばした。同車種のシェアは2018年に2割、2019年に3割を超え、2021年には4割を超えるまでに伸びている。電動自転車が市場全体に占める割合について、ZIVは「中期的に30%、長期的に35%」から、昨年「短期的に40%、中長期的に50%」に上方修正していたが、今回「電動自転車の市場全体におけるシェアは43%に上昇し、50%に近づいている」とシェアの過半数超えも近いと予測している。

5. 電動自転車の販売及び生産輸出入台数

2021年の電動自転車の販売台数は2019年3割超、2020年4割超に続き、前年比2.6%増となり200万台に達した。また、電動自転車の生産台数も2020年の30%増に続き、前年比7.7%増の140万台となった。

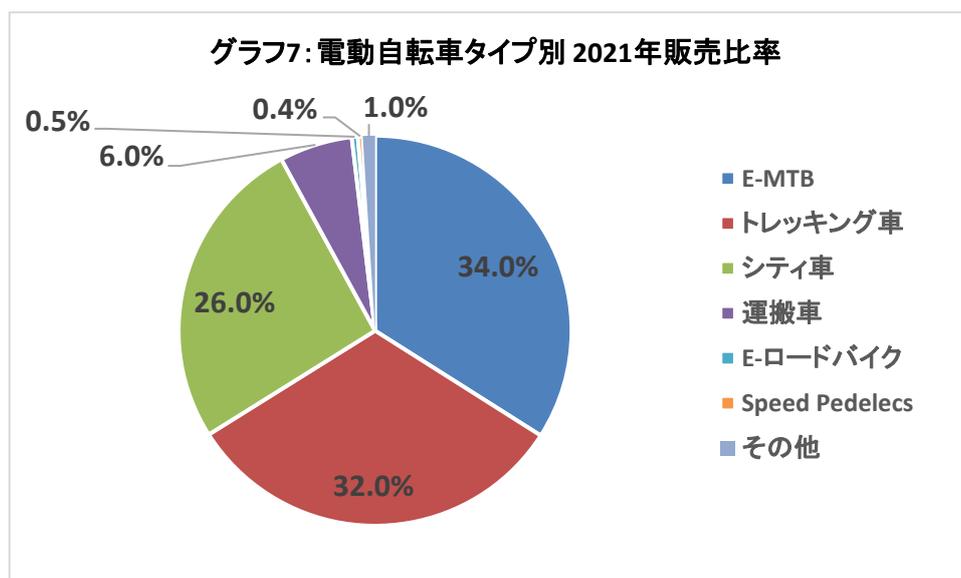


2021年の電動自転車の輸出台数は61万台と前年同様に維持し、輸入台数は前年比26%増の131万台と2割強の増加となった。



電動自転車の輸出先は98%がEU及びEFTA諸国で、オランダ向け輸出が前年より2ポイント減の34%と最大である。次いでオーストリア向けが12%、フランス12%、スイス9%等となっている。

輸入先はEU諸国からが前年より6ポイント減の67%で、アジア地域からが前年より4ポイント減の20%である。国別ではブルガリアからの輸入が前年より1ポイント増の17%と最大である。次いでオランダが2ポイント増の14%、ベトナムが2ポイント減の13%、一方、ハンガリーは前々年の9ポイント減からさらに5ポイント減の12%となった。その他、台湾が7%、チェコ、ルーマニアが6%、ポーランドが5%等となっている。



2021年の電動自転車のタイプ別販売比率は、電動マウンテンバイク（E-MTB）が4ポイント増の34%と最大となった。一方、前年最大であったトレッキング車タイプは3.5ポイント減の32%で、シティ車タイプも2ポイント減の26%と減少傾向にあるが、街乗りが主体のトレッキング/シティ両タイプは6割近くを占めている。

ZIVは「2021年のドイツ国内生産は台数ベースで237万台（うち自転車94万台、電動自転車143万台）、金額ベースで65億6,000万ユーロに上昇した。輸入は414万台、輸出は156万台で推移し、ドイツ国内の流通台数（生産と輸入から輸出を引いた台数）は494万台と、前年に対し62万台増、コロナ前の2019年に対しても53万台増と、ここ10年でもっとも多い値となった」としている。

また「記録的な台数となった2020年に続き、2021年も成功とみなすことが言えよう。電動自転車の販売は195万台から200万台に増加した一方、自転車の販売は309万台から270万台に減少し、出荷台数は504万台から470万台に減少したが、それでもまだコロナ前のレベルをはるかに上回っている」とし「我々は新しいレベルに飛躍している」と強調している。

さらに「自転車は交通手段やレジャー活動の重要な手段として国民に認識されている。ドイツの自転車保有台数は現在8,100万台で、統計的にみてほぼすべてのドイツ国民が自転車を保有していることになり、輸送手段の中では最も多くのツールであり続けている。今や電動自転車は通勤や余暇の重要な選択肢のひとつとなっており、電動自転車の保有台数850万台は電気自動車の25倍である」とし「自転車産業はドイツをeモビリティの主要市場にした。電動自転車利用のためのインフラ整備が緊急に必要である」と述べている。

以 上

統計出所：ドイツ二輪産業協会（ZIV）